③　減損額の内訳

資産名称	種　類	減損額	回収可能サービス価額の算出方法
雄育成牛舎	建物	11,367,100円	＊
精液処理室	建物	3,387,360円	＊
水槽	建物附属設備	183,000円	＊
架空給水設備	建物附属設備	93,034円	＊
第３検定牛舎	建物	756,002円	＊
第４検定牛舎	建物	756,002円	＊
ガス設備	建物附属設備	29円	＊
衛生器具設備	建物附属設備	182円	＊
搾乳設備	建物附属設備	524,337円	＊
給湯設備	建物附属設備	1,087,863円	＊
洗浄室空調設備	建物附属設備	2,168円	＊
冷暖房設備	建物附属設備	27,952円	＊
動力設備	建物附属設備	3,659,728円	＊
サイロ排汁桝	構築物	22,050円	＊
屋外排水設備	構築物	1,278円	＊
構内配電線路	構築物	49,720円	＊
牧柵	構築物	941,780円	＊
水槽	構築物	17,254円	＊
計		22,876,839円	

＊　正味売却価額により測定しており、固定資産の時価から処分費用見込額を控除して０円として算出しています。

⑵　減損の兆候が認められた固定資産

①　減損の兆候が認められた固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要

資産名称	用　途	種　類	場　所	帳簿価額
土地（本所・芝原地区の一部区画）	（牧草地）	土地	福島県西白河郡	75,743,096円
計				75,743,096円

②　認められた減損の兆候の概要

土地（本所・芝原地区の一部区画）は、東京電力・福島第一原子力発電所の事故で放射性物質に汚染されたことにより牧草生産を一時中止しており、他の区画では計画的に除染を行うことで牧草生産を再開していますが、本件区画では除染計画が定まっておらず、牧草生産の再開の見通しが立っていないことから、減損の兆候が認められます。

③　減損を認識しない理由

土地（本所・芝原地区の一部区画）は、草地の除染基準の動向等を踏まえて除染を行い牧草地として利用していくこととしていることから、減損を認識しておりません。

６．金融商品関係

⑴　金融商品の状況に関する事項

当法人は、資金運用については短期の預貯金に限定しており、他の資金運用は行っておらず、デリバティブ取引も行っておりません。

また、機械及び装置、工具器具備品、ソフトウェアの一部は、ファイナンス・リース契約により使用しております。

⑵　金融商品の時価等に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

	貸借対照表計上額（※）	時価（※）	差額（※）
現金及び預金	1,653,180,093円	1,653,180,093円	0円
未払金	(974,801,422円)	(974,801,422円)	0円

（※）　負債に計上されているものは、（　）で示しております。

㈱　金融商品の時価の算定方法

①　現金及び預金

期末の預貯金は全て要求払い預金であるため、時価は帳簿価額に等しいことから、当該帳簿価額を時価として記載しております。

②　未払金

短期間で決済されるものであり、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価として記載しております。

７．賃貸等不動産関係

当法人は、保有する不動産の一部について賃貸契約を締結しておりますが、賃貸不動産総額の重要性が乏しいため、注記を省略しております。

８．資産除去債務

当法人は、一部の土地について賃貸借契約を締結しており、当該借地上の建物等につき賃貸借契約非更新時の原状回復義務を有しておりますが、当該債務に関連する土地の賃貸借契約を更新しない予定はなく、中期計画等においても建物等の移転又は取壊しは予定されておりません。このため、資産除去債務を合理的に見積もることができず、当該資産に見合う資産除去債務は計上しておりません。

９．重要な債務負担行為

契約内容	金　額	摘　要
自走式ミキサー購入	40,716,000円	当期に契約を締結したもののうち、実際の支出の全部又は一部が翌期以降になる重要なものを記載しております。 なお、契約金額は運営費交付金債務で手当てされております。